

【公募情報】平成 28 年度 日本医療研究開発機構（AMED）「腎疾患実用化研究事業（平成 28 年度 1 次公募）」公募について

平成 27 年 11 月 18 日

信濃町地区研究者各位

信濃町キャンパス 学術研究支援課

11 月 13 日付で平成 28 年度「腎疾患実用化研究事業（平成 28 年度 1 次公募）」について新規課題が公募されました。

ご応募を検討されている研究者におかれましては下記照会先までご一報くださいますようお願いいたします。

(1)応募意思の申し出締切：【平成 27 年 12 月 2 日（水）】

(2)応募書類一式提出締切：【平成 27 年 12 月 7 日（月）】

【注意点】

- ・ 本学で応募が可能な方は、本学と雇用関係のある”常勤”の研究者となります。
- ・ 機関を対象としての公募であり、申請は代表機関の長が行うことになります。
- ・ 提案書の提出方法：【e-rad】

腎疾患実用化研究事業（平成 28 年度 1 次公募）

<http://www.amed.go.jp/koubo/010520151113-03.html>[外部ページ]

—公募概要—

腎疾患実用化研究事業（平成 28 年度 1 次公募）

【提出期間】2015 年 11 月 13 日～2015 年 12 月 16 日（水）（正午）

【研究開発課題】血液透析に代わる進行性腎障害の新規治療法の開発に関する研究

【研究費の規模】1 課題あたり 1200 万円/年（間接経費を含む）

【研究期間】最長 3 年度（2016 年度～2018 年度）

【採択課題数】1 課題程度

【目標】血液透析については、腎移植以外ではほぼ離脱不可能であり、頻回の通院により患者の負担の大きさ、医療費への影響も指摘されていることから、CKD が進行した重症患者における血液透析に代わる治療法の開発を推進する。例えば、再生医療の手法を用いた新規治療法等の開発が想定される。原則、5 年以内には、非臨床 POC（Proof of Concept）の取得、First in Human もしくは POC を取得するための臨床研究の開始を目指すことを目標とする。

【求められる成果】

非臨床 POC の取得やその基盤となる技術の確立 等

【採択条件】

＜必須条件＞

・最終的に臨床応用されることを考慮に入れて、実現可能性が高い長期的なロードマップを作成して、当該疾患が治療法開発におけるどの段階にあって、当該研究がどのような役割を果たすのかを明示すること。そのロードマップには研究期間内の短期的な目標とともに、10 年単位の長期的な目標についてもいつまでにどのような成果物が提出できるかを明らかにすること。

＜その他の条件＞

- ・治療法開発研究においては、開発ステージが進行した段階では、治験を視野に含めた臨床研究に積極的に対応できる体制が整備されていること。
- ・治験を実施する場合には、公的な各種治験登録サイトにおいても公開すること。
- ・国際展開を視野に入れた研究開発を遂行できること。

担当（照会先）：信濃町キャンパス 学術研究支援課 AMED 担当

メール：amed-shinano@adst.keio.ac.jp